

## 令和2年度 小金井市障害者地域自立生活支援センター事業報告

### はじめに

支援センターでは、地域生活支援拠点等事業の受託をし、相談事業所連絡会や3つの研修等を行いました。相談に関しては、4410件、実人員4466人、全体で7783件の相談を取り扱いました

### 1) 基幹相談支援センター

基幹相談支援センター連絡会を実施して課題や取り組み状況等の情報共有を行っている。  
新型コロナウイルスの関係でウェブでの連絡会を実施しました。

#### ① 相談支援を利用している障害者等の人数

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	4450	191	17	272	586	415	10	2959
障害児	16	0	15	1	0	0	0	0
計	4466	191	32	273	586	415	10	2956

#### ② 支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
件数	249	111	115	2064	418	57	42	1354

#### ③ 支援内容

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
件数	1380	1126	1026	1222	37	501	146	371

	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	139	348	63	1424	7783

### 2) 障害者相談支援事業

基幹相談支援センターで受けた相談は、サービス利用援助、社会資源の活用支援、専門家の紹介や連携を行っています。この事業で、音楽療法・パソコン講習会・ピアカウンセリングを開催しています。高次脳・難病の事業は、関係機関連絡会や講演会等を計画していたが、新型コロナウイルスを配慮して実施を見送ることとしました。

#### ① 講座・講習

音楽療法：月1回、年10回の講座（1月16日、1回の開催見送り）に6名の方が参加している。3つのグループ分けをして、特に障害の重度の方を対象にした講座を実施しました。

パソコン講習会：身体障害コース×2回（6名定員 1回目中止 2回目2名受講）

知的障害コース×2回（6名定員 1回目中止 2回目参加者なし）

ピアカウンセリング：知的・肢体不自由・視覚・聴覚・心の悩み・内部・難病のピア相談を計画しました。4月は、すべての相談を中止し、5月からは、時間短縮（2時間⇒1時間）電話相談、実施見合わせなどカウンセラーと相談して可能な相談を実施しました。

#### ②高次脳・難病支援促進事業

高次脳機能障害者支援促進事業：当事者・家族の会との連携や講演会を実施予定でしたが、新型コロナへの感染拡大等で実施を見送りました。

難病者支援促進事業：当事者会・講演会・連絡会を令和元年は実施したが、令和2年度は新型コロナへの感染拡大等で実施を見送りました。

### 3) 指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業

#### ①指定特定相談支援事業

支援センターは、計画相談を受けた場合、地域の相談事業所に計画をお願いすることを基本としています。困難事例や緊急の相談に関して支援センターで受けて対応するケースもあります。登録型相談員は、地域の相談事業所立ち上げへの準備として位置づけで2020年度にも1カ所新規事業所を立ち上げて頂きました。相談事業所の数も増えてきていることから支援センターでの計画相談は縮小する方向で進めています。

計画相談の実数 支援センター職員：23件 登録型相談員：30件

#### ②指定一般相談支援事業

施設・病院からの地域移行は行っていないが、移行の相談1件と実際に病院からの退院の支援や日中活動、通院等の支援を行っています。

### 4) 障害者虐待防止センター

7件の虐待相談を受け、小金井市と連携して対応した。家族間の問題等の相談を受けています。

### 5) 小金井市自立支援協議会

5月の自立支援協議会は、新型コロナの拡大防止で中止となりました。年4回の全体会と4回の専門部会を実施しました。本年度の自立支援協議会は、第6期小金井市障害福祉計画の作成が大きなテーマとなりました。事務局として会議資料の作成を小金井市と連携して行い、協議会の議事録の作成も行っています。基本的な運営は、会長・副会長・各専門部会長・小金井市で進められました。

### 6) 地域生活支援拠点等事業

地域生活支援拠点等事業は、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能を持つ場所や体制のことです。主な機能は、5つあり、①相談②緊急時の受け入れ・対応③体験お機会・場④専門的人材の確保養成⑤地域の体制づくりとなります。相談事業所連絡会や短期入所事業所連絡会の準備会合を実施して、体制づくりを進めました。

④専門的人材の確保養成のために定款変更を法人にお願いして、ガイドヘルパー等の養成研修事業を令和3年度から実施できるよう準備を行いました。令和2年度は、精神障害者の地域生活・強度行動障害の特性・医療的ケア児者の地域生活という3つのテーマで講演会を実施しました。精神障害者の地域生活は、会場2名・オンライン28名、強度行動障害の障害特性は、会場7名・オンライン15名、医療的ケア児者の地域生活は、会場8名・オンライン7名の参加を得ています。